

人類文化学科生のみなさんへ

2020年度「フィールドワーク（文化人類学）Ⅰ，Ⅱ」（国内・海外）説明会について

文化人類学を学ぶ上で、フィールドワークはとても重要な意味をもっています。フィールドワークでは、フィールド（現地・現場）に一定期間滞在し、参与観察をおこなったり、インタビューをしたり、あるいは博物館などで実際にモノに接しながら学習することで、体験的に文化や社会について学びます。「フィールドワーク（文化人類学）Ⅰ，Ⅱ」は、こうしたフィールドワークの醍醐味を学生のみなさんにも体験していただくという趣旨の授業です。

授業は、学内での通常の授業（30回）と、夏休みやクォーター2を利用した1～2週間ほどの学外授業とを組み合わせたものとなります（計4単位）。学外での現地調査実習を、それに前後する学内でのゼミ形式の研究によって補うことで、デスクワークとフィールドワークとの往復作業という、人類学の根本的な研究スタイルを学んでいきます。そして最後に、調べた内容を報告書にまとめます。

2020年度は3クラス（国内・海外）を開講する予定です。

1）クラス1（海外・後藤明担当）は、ハワイ（ホノルルとオアフ島、およびカウアイ島）で文化人類学的な調査実習を行います。

2）クラス2（海外・スサイラジ担当）は、インド（タミル・ナードゥ州）で文化人類学的な調査実習を行います。

3）クラス3（国内・石原担当）は、東海3県内で調査実習を行います。2019年度は三重県明和町大淀で調査実習を行いました。2020年度も愛知県か三重県の町村で調査を行う予定です。

それぞれのクラスによって、研究テーマ、学外授業の実施日程、学内での授業の進め方、報告書のとりまとめにいたる作業の手順、などは若干異なります。ただいづれも、履修者の負担は通常の授業に比べて大きなものとなります。また、学外授業における旅費・滞在費・資料購入費をはじめとして、授業に参加する上で必要となる出費は、原則すべて履修者の個人負担となります。

またこの授業は予備登録を行いますので、関心のある学生は下記の説明会に必ず出席してください。意欲ある学生の参加を希望しています。

授業担当予定者一同

記

フィールドワーク全体説明会

1）開催日時：2019年12月4日（水）12:45～13:15

2）場所：S45 教室

*なお、ハワイ・インドで学外授業を実施する予定の「フィールドワーク（文化人類学）」の詳細については、別途説明会を実施いたします。関心のある学生は、全体説明会とともにこちらにも出席して下さい。

以上

問い合わせ先：人類文化学科合同研究室
(第一研究室棟 4F)